

2024年度(令和6年度)第21回北海道支部定時総会

報告・議案資料

1. 2023年度事業決算報告	1
2. 監査報告書	2
3. 2024年度 事業計画・予算報告	3
4. 各部別 2023年度事業報告及び 2024年度事業計画	4～11
5. 第1号議案.....	12
6. 第三次中期3カ年計画の進捗状況.....	13～15

<2023年度 事業総括>

コロナ禍以前の事業活動および収益確保を目標にした2023年度事業計画に則り、活動を展開した。
 対面によるカウンセリングおよび研修の受託が戻ってきたことにより、支部全体の収支が改善された。
 また、オンラインによる研修も遠隔地や複数の営業所等を持つ職場では定着しつつあり、支部として、これからの時代のニーズに対応すべく講師・カウンセラーの育成にも取り組んだ一年であった。
 一方、産業カウンセラー養成講座およびキャリアコンサルタント養成講習等の主要講座の受講者数が伸び悩み、計画通りの収益を上げることができなかつたので、それらの費用の見直しを図りマイナス幅の縮小に努めたが、次年度に向けて課題が残る結果となった。
 また近年、協会全体で経営改善に取り組む中、当支部に求められる役割も多岐にわたっていることから、支部運営にたずさわる会員の育成、および抱える課題について検討する一年であった。

2023年度実績

科 目	2023年度予算(A)	2023年度 実績(B)	増減(B)-(A)
経常収益			
I 受取会費	1,850,000	1,876,000	26,000
1)個人会費還付金	1,330,000	1,336,000	6,000
2)賛助会費還付金	520,000	540,000	20,000
II 認定試験受験料等収益	703,000	415,972	-287,028
III 事業収益	46,540,400	45,457,419	-1,082,981
1)養成講座収益	14,825,900	10,712,929	-4,112,971
3)実技指導者育成収益	105,600	150,000	44,400
4)キャリア講座収益	6,670,000	6,728,000	58,000
5)シニアコース講座収益	585,000	261,000	-324,000
6)会員研修・講座収益	1,153,900	1,000,100	-153,800
7)普及事業収益	20,800,000	24,674,321	3,874,321
8)相談事業収益	2,400,000	1,931,069	-468,931
IV 雑収益	10,000	33,857	23,857
1)受取利息	0	29	29
2)雑収益	10,000	33,828	23,828
V 組織強化費収益	5,254,500	5,675,094	420,594
1)事務長給与補助収益	2,400,000	2,400,000	0
2)事務員補助収益	1,440,000	1,440,000	0
3)社会保険補助収益	950,000	923,795	-26,205
5)その他	464,500	911,299	446,799
経常収益合計 A	54,357,900	53,458,342	-899,558
経常費用			0
I 認定試験費用	703,000	684,340	-18,660
II 事業費	31,210,313	28,075,953	-3,134,360
1)養成講座	8,930,533	6,591,686	-2,338,847
3)実技指導者育成費用	155,000	0	-155,000
4)キャリア講座	5,249,500	4,507,602	-741,898
5)シニア講座	465,280	269,231	-196,049
6)会員研修・講座	1,207,500	792,776	-414,724
7)普及事業	12,630,000	13,227,658	597,658
8)相談事業	2,572,500	2,687,000	114,500
III 広報費	152,000	195,690	43,690
①会報発行費	134,000	14,340	-119,660
②広報宣伝費	18,000	181,350	163,350
事業費用合計	32,065,313	28,955,983	-3,109,330
IV 管理費			0
1)総会関係費	315,000	238,830	-76,170
2)役員会議費	1,980,000	2,102,779	122,779
3)一般管理費(支部事務所経費)	16,793,417	17,572,049	778,632
管理費計	19,088,417	19,913,658	825,241
経常費用合計 B	51,153,730	48,869,641	-2,284,089
当期経常増減額 C(A-B)	3,204,170	4,588,701	1,384,531

監査報告について

令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）の会計について、
令和 6 年 4 月 17 日に監査を実施いたしました。
その結果、会計帳簿及び関係書類は適正に処理されていることを認めましたので、
報告いたします。

令和 6 年 4 月 17 日

会計監査監事

十川 秀逸 

藤原 真由美 

一般社団法人日本産業カウンセラー協会
北海道支部 支部長 林 美幸 様

<2024年度 事業計画>

第三次中期3か年計画の2年目として、前年度積み残し事業、および今後の課題をベースに、現実的な数値目標をもって各部で取り組む目標を作成した。協会全体で取り組んでいる新たな事業の中から、北海道の地域性にあった継続可能な事業を積極的に取り入れ、各部が連携し主要講座並びに受託事業の収益増加につなげることに主軸をおいた。

主要講座の受講者確保が重要な課題であることから、その有用性や魅力周知を徹底して行う。具体的には新しくなった支部ホームページやFacebook、SNS等を広告ツールとして有効活用することや、対面による説明会、個別相談会等を継続的に実施、個々のニーズや状況にあわせた丁寧な説明を通してその魅力を十分に伝える等、地道に取り組む。

北海道支部の特徴でもある実践家としてのカウンセラーの育成と事業受託の健全なサイクルを維持し、社会に貢献できる組織を維持するために、支部運営を担う人材育成にも力を入れる。

2024年度予算

科 目	2024年度予算(A)	2023年度予算(B)	増減(A)-(B)
経常収益			
I 受取会費	2,020,000	1,850,000	170,000
1)個人会費還付金	1,370,000	1,330,000	40,000
2)賛助会費還付金	650,000	520,000	130,000
II 認定試験受験料等収益	629,000	703,000	-74,000
III 事業収益	45,544,720	46,540,400	-995,680
1)養成講座収益	10,588,020	14,825,900	-4,237,880
2)実技指導者育成収益	160,000	105,600	54,400
3)キャリア講座収益	7,945,800	6,670,000	1,275,800
4)シニアコース講座収益	417,000	585,000	-168,000
5)会員研修・講座収益	1,164,900	1,153,900	11,000
6)普及事業収益	22,759,000	20,800,000	1,959,000
7)相談事業収益	2,510,000	2,400,000	110,000
IV 雑収益	10,000	10,000	0
1)受取利息	0	0	0
2)雑収益	10,000	10,000	0
V 組織強化費収益	5,040,000	5,254,500	-214,500
1)事務長給与補助収益	2,400,000	2,400,000	0
2)事務員補助収益	1,440,000	1,440,000	0
3)社会保険補助収益	900,000	950,000	-50,000
4)その他	300,000	464,500	-164,500
経常収益合計 A	53,243,720	54,357,900	-1,114,180
経常費用			
I 認定試験費用	629,000	703,000	-74,000
II 事業費	28,879,680	31,210,313	-2,330,633
1)養成講座	5,831,680	8,930,533	-3,098,853
2)実技指導者育成費用	145,000	155,000	-10,000
3)キャリア講座	4,839,000	5,249,500	-410,500
4)シニア講座	298,000	465,280	-167,280
5)会員研修・講座	1,122,000	1,207,500	-85,500
6)普及事業	14,146,000	12,630,000	1,516,000
7)相談事業	2,498,000	2,572,500	-74,500
III 広報費	134,000	152,000	-18,000
1)会報発行費	34,000	134,000	-100,000
2)広報宣伝費	100,000	18,000	82,000
事業費用合計	29,642,680	32,065,313	-2,422,633
IV 管理費			0
1)総会関係費	255,000	315,000	-60,000
2)役員会議費	1,890,000	1,980,000	-90,000
3)一般管理費(支部事務所経費)	16,207,640	16,793,417	-585,777
管理費計	18,352,640	19,088,417	-735,777
経常費用合計 B	47,995,320	51,153,730	-3,158,410
当期経常増減額 C(A-B)	5,248,400	3,204,170	2,044,230

養成講座部

2023年度実績

単位(千)円

※指導者育成含む

収益予算	15,634	費用予算	9,788	利益予算	5,846
収益実績	10,863	費用実績	6,592	利益実績	4,271
予算比	69.5%	予算比	67.3%	予算比	73.1%
収益前年	12,462	費用前年	8,330	利益前年	4,132
前年比	87.2%	前年比	79.1%	前年比	103.4%

2023年度活動実績

- ・ 春開講6か月コース 13名
- ・ 北海道医療大学教室:7名、札幌学院大教室:5名 2023年10月修了
- ・ 2023年度冬開講10か月コース 土・日:4名、水曜夜間:4名 2024年1月開講
- ・ 体験講座&説明会 冬開講10か月コース対象 8回
- ・ 体験講座&説明会 春開講6か月コース対象 12回
- ・ 実技指導者向けの開講前準備研修・職能別研修等を実施し、指導者の研鑽を図った。

課題等

- ・ 産業カウンセラーの認知度をどう高め、養成講座に興味をもっていただくか(永遠のテーマ)。
- ・ 養成講座受講者確保の為、体験講座や説明会は一定の効果が見込めるため、参加者を増やす工夫の検討。
- ・ 養成講座オンライン化に対応するための準備、検討を進める。(ネット環境・運営方法・指導者の研鑽等)
- ・ 学校や企業等への出前講座の実施の働きかけを行い、すそ野を広げる。

2024年度予算

単位(千)円

※指導者育成含む

収益	10,748	費用	5,977	利益	4,771
前年実績比	98.9%	前年実績比	90.7%	前年実績比	111.7%

2024年度活動方針

- ・ 受講者のニーズに合った養成講座の教室運営ができるよう、改善点等を洗い出し、改善策を検討し、より良い講座運営に努める。(受講者は、春6か月7名、医療大教室5名、札幌学院大教室5名)
- ・ 体験講座&説明会を積極的に開催し、産業カウンセラーの認知度を高め、講座の一部を体験していただくことで講座の良さを知っていただき、受講者の掘り起こしに努める。また有効な広告媒体の検討と活用を進める。
- ・ 実技指導修習生を育成するとともに、実技指導者の研修を実施し、実技指導者のスキル向上に努める。

その他

- ・ 他地域で実施されているオンライン講座の情報を入手しながら、今後の対応を検討していきたい。
- ・ 学校や大学等での出前講座拡大に向けて、本部や関係部署と連携し対策を進める。

事業推進部

2023年度実績

単位(千)円

※公開講座含む

収益予算	7,500	費用予算	4,690	利益予算	2,810
収益実績	6,829	費用実績	3,866	利益実績	2,963
予算比	91.1%	予算比	82.4%	予算比	105.4%
収益前年	5,943	費用前年	3,508	利益前年	2,435
前年比	114.9%	前年比	110.2%	前年比	121.7%

2023年度活動実績

- ・2023年度 年間研修回数 214回 受託事業所 41件
- ・心の健康アドバイザー認定講座実施。8月 受講者 8名
- ・支部認定講師間の相互研鑽のため、オンライン勉強会を月例で実施
- ・支部認定講師育成研修実施。受講者 5名

課題等

- ・平日の日中に稼働できる講師の確保。
- ・依頼先のニーズが多岐に亘っているため、講師の更なるスキルアップが必要。

2024年度予算

単位(千)円

※公開講座含む

収益	7,559	費用	4,216	利益	3,343
前年実績比	110.7%	前年実績比	109.1%	前年実績比	112.8%

2024年度活動方針

- ・働きやすい職場環境づくりのために、人間関係支援として「心の健康アドバイザー認定講座」の普及活動を行う。
- ・研修先に、賛助会員についてのご案内をし、会員増に努める。
- ・認定講師の相互研鑽のため、月例の学習会を実施する。
- ・グループワークがある研修のニーズに応えられるよう、講師のファシリテーション力の向上に努める。

その他

相談事業部(普及事業)

2023年度実績

単位(千)円

収益予算	13,300	費用予算	7,940	利益予算	5,360
収益実績	17,845	費用実績	9,361	利益実績	8,484
予算比	134.2%	予算比	117.9%	予算比	158.3%
収益前年	10,292	費用前年	5,048	利益前年	5,244
前年比	173.4%	前年比	185.4%	前年比	161.8%

2023年度活動実績

- ・全道規模の事業を受託することができ、予算および前年実績を大幅に超える実績を残すことができた。
- ・配置の変更や新たに担当するカウンセラーへのサポートを行い、スムーズな業務移行につなげた。

課題等

- ・平日活動できるカウンセラーに偏りがある。
- ・常設された相談室(訪問カウンセリング・電話相談を含め)の稼働率が低い。

2024年度予算

単位(千)円

収益	15,200	費用	9,930	利益	5,270
前年実績比	85.2%	前年実績比	106.1%	前年実績比	62.1%

2024年度活動方針

- ・新規事業担当者や新たに相談業務の現場に出る者を、積極的コミュニケーションで支援し、実践的カウンセラーを育成していく。
- ・依頼してよかったと思われるような、質の高い業務遂行に関する情報提供とその機会を提供する。
- ・事業推進部を含め、各事業部との連携強化による事業の掘り起こしを行う。

その他

- ・支部認定カウンセラーが現場で抱える課題に対して、よりきめ細かなフォロー体制を整備する。
- ・平日や地方で活動できるカウンセラーの確保に努める。
- ・相談室の稼働率を高めるための仕組みづくりや、周知方法を検討し、実現化に向けて準備する。

相談事業部

2023年度実績

単位(千)円

収益予算	2,400	費用予算	2,573	利益予算	-173
収益実績	1,931	費用実績	2,687	利益実績	-756
予算比	80.5%	予算比	104.4%	予算比	437.0%
収益前年	2,535	費用前年	2,967	利益前年	-432
前年比	76.2%	前年比	90.6%	前年比	175.0%

2023年度活動実績

- ・学びの先に見えてくるものをイメージしやすいよう、新旧支部認定カウンセラー間の交流機会を設けた。
(1月「Zoom茶話会」×1回開催、3月「全体会議」グループワーク 等)
- ・質の高いサービスを提供するために、より効果的に学べるよう研鑽のあり方を工夫し、
2024年度の研修実施計画の策定、およびグループ改編に取り組んだ。

課題等

- ・北海道全域をカバーできる人材の不足。
- ・様々な状況に対応できる能力、社会情勢を意識した情報の共有化、支援者の孤立を防ぐなど、
次世代を担うカウンセラーが安心して学び活動できる場を維持することが急務。

2024年度予算

単位(千)円

収益	2,510	費用	2,498	利益	12
前年実績比	130.0%	前年実績比	93.0%	前年実績比	—

2024年度活動方針

- ・北海道全域をカバーできる人材の育成と、様々な状況に対応するための能力向上を目指し実施している
「循環型の育成システム」の維持と、更に発展させていくための土壌づくり(後進の育成)。
- ・支部認定カウンセラー個人の能力とチーム力の強さを生かした自律的組織作りに努める。
- ・相互研鑽の活性化を図るため、研修の目的や意義、課題の共有等、参加者主体の研修運営を目指す。

その他

CC講座部

2023年度実績

単位(千)円

収益予算	6,670	費用予算	5,250	利益予算	1,420
収益実績	6,728	費用実績	4,508	利益実績	2,220
予算比	100.9%	予算比	85.9%	予算比	156.3%
収益前年	6,089	費用前年	4,193	利益前年	1,896
前年比	110.5%	前年比	107.5%	前年比	117.1%

2023年度活動実績

・CC養成講習(充足率 5割弱)

受講者 4月:4名 8月:7名 12月:6名 と昨年度よりは増加したが低調であった。

12月のオンライン開講が定着してきた。

・CC更新講習(充足率 4割)

技能講習は年間12回、定期開催の目標は達しているが、受講者数の減少は喫緊の課題【延申込人数/定員 97/236】

・試験対策ほか

各期ごとに試験対策講座、模試を開催。対策講座日程は受講者の希望日から日程を決定することで申込率が上がった。

GW中に講師、演習講師の集合による内部研修を行った(6h*2日)

課題等

養成講習、更新講習ともに受講者が定員に満たない。

2024年度予算

単位(千)円

収益	7,946	費用	4,839	利益	3,107
前年実績比	118.1%	前年実績比	107.3%	前年実績比	140.0%

2024年度活動方針

・CC養成講習: 定期開催と定員の充足を礎とした安定的な開催を継続する。

冬季のセミオンライン開催を定着化させ、道内遠隔地の需要にも対応していく。

なお、12月講習の日程については現在調整中(オンライン+対面で開催)。

・CC更新講習: 定期開催により、道内CCの質の担保に貢献する。

定期開催を基本とし、道内在住の資格保持者へのサービスとCCの質向上に貢献する。

更新講習はオンライン開催を織り交ぜ、道内遠隔地の需要に応えていく。

・試験対策講座: 養成講習受講者へのサポートを拡充させる。

直近開催のみではなく、過去の受講者への開催告知も積極的に行っていく。

受講生以外への広報活動についても策を検討していく。

その他

【ご報告】養成講習の新カリキュラム開始に伴い、演習講師を対象とした24年度の内部研修が終了した(2日間*6時間)

養成講習の受講者数はなかなか伸びないが、受講者アンケートからは講座内容に対する満足度の高さがうかがわれる。強みとして広告等に活かしたい。

広報部

2023年度実績

単位(千)円

収益予算	—	費用予算	152	—	—
収益実績	—	費用実績	196	—	—
予算比	—	予算比	128.9%	—	—
収益前年	—	費用前年	144	—	—
前年比	—	前年比	136.1%	—	—

2023年度活動実績

- ・講座講習受講者、受講予定者に対するアプローチとして新聞広告等媒体を活用した。
- ・支部HP改修に関し、本部・神奈川支部よりの助言、力添えを頂きながら進行。
6月末にリニューアル。
- ・すずらんが支部広報誌として100号達成を記念に紙媒体での発行を行った。
- ・広報誌JAICOへの研修講習イベントの寄稿、管理も昨年同様行っている。

課題等

- ・次期すずらんの媒体形式の精査。

2024年度予算

単位(千)円

収益	—	費用	134	—	—
前年実績比	—	前年実績比	68.4%	—	—

2024年度活動方針

- ・更なる講座講習受講者、受講予定者に対するアプローチとして媒体選定と検証。
- ・次期すずらんの媒体選定と運用。(pdfによる冊子での運用意見あり)
- ・新HPの運用と有効的な活用。

その他

- ・引き続きマンパワー確保(媒体運用スタッフ)も今期課題と考える。

会員研修部・シニア講座・会員部

2023年度実績

単位(千)円

※シニア講座含む

収益予算	1,739	費用予算	1,673	利益予算	66
収益実績	1,261	費用実績	1,062	利益実績	199
予算比	72.5%	予算比	63.5%	予算比	301.5%
収益前年	1,140	費用前年	1,024	利益前年	116
前年比	110.6%	前年比	103.7%	前年比	171.6%

2023年度活動実績

- ・会員研修部) 考え方教室9講座を開催。(オンライン6講座・集合2講座)受講者数280名。
2022年度よりも受講者数で約10%増、利益も前年比約170%と収益の改善も図ることができた。
- ・会員研修部) 聴き方教室の実施はできなかったが、傾聴トレーニングは2022年度と同程度の実施(5回、38名受講)
- ・会員部) 北海道支部会員ブログ「産カン北海道」からの情報配信。(合計7回)
- ・会員部) 「これからの学び方説明会」をオフライン&オンラインの同時開催
- ・会員部) 2017年・2018年度の卒業生を集めて同窓会傾聴トレーニングを実施。

課題等

- 会員研修部) 聴き方教室(傾聴教室)は会員からの要望が多いが、受講者あたりの講師数が多く必要な教室であり、実施のための日程・講師の調整が難しく、要望に十分に答えきれていない部分がある。
- 会員部) コロナ禍による感染予防のため、あらゆる交流活動(地方親睦、懇親会、ロードマップなど)が中止になっていたため、新たな会員同士のコミュニケーションの場を増やすこと。

2024年度予算

単位(千)円

※シニア講座含む

収益	1,582	費用	1,420	利益	162
前年実績比	125.5%	前年実績比	133.7%	前年実績比	81.4%

2024年度活動方針

- ・会員研修部) オンライン講座の継続開催(6講座開催確定)。
- ・会員研修部) 聴き方教室の内容充実を図る(基礎・ステップアップ・トレーニングなど会員ニーズに合わせて開催)。
- ・会員部) 2021年～2023年の同窓会傾聴トレーニングを実施。
- ・会員部) 北海道支部会員ブログ「産カン北海道」からの情報配信。(合計10回)
- ・会員部) 「これからの学び方説明会」をオフライン&オンライン開催。

<シニア育成講座について>

- 2023年度報告
- ・「シニア産業カウンセラーの理解」、「逐語記録・事例報告の作成と検討(1期)」の2科目未実施。
 - ・「ファシリテーションとグループワークの実践的理解」の1科目のみ開催できた。
- 2024年度計画
- ・「シニア産業カウンセラーの理解(受講ガイダンス)」、「逐語記録・事例報告の作成と検討(1期)」、「同(2期)」の3科目開催を目指す。

管理費(役員費・事務局)

2023年度実績				単位(千円)	※総会費用を除く
収益予算	—	費用予算	18,773	—	—
収益実績	—	費用実績	19,674	—	—
予算比	—	予算比	104.8%	—	—
収益前年	—	費用前年	18,538	—	—
前年比	—	前年比	106.1%	—	—

2023年度活動実績

- ・管理費総額では昨年対比で、1,156千円の増額となったが、内訳として大きくは租税公課(消費税、収入印紙)362千円増、光熱費240千円増、什器備品(会議室机と椅子)227千円増、役員会議費148千円増、委託費(PCP入れ替え作業)141千円増、通信運搬・印刷製本等87千円増の順となっており、租税公課や役員会議費など受託数増に関連する一方で、光熱費や什器備品など、内部会議室利用を促進した影響による費用増も見られた。
- ・事務局職員の給与・旅費については昨年比2%程度削減できた。
- ・Zoomの共通ID廃止に伴い部長・副部長への個別ID貸与、teamsのフォルダ整備、MS365アカウント整理を実施した。
- ・次年度Pマークの更新を迎えるに辺り、本部指示の下教育・資料の整備を実施した。

課題等

- ・幹部だけでなく各部員にもteamsを積極的に活用して頂けるよう環境整備を行いたかった。
- ・水道光熱費、JR等の交通費等、間接コストの値上げに対する対策が十分にできていなかった。

2024年度予算				単位(千円)	※総会費用を除く
収益	—	費用	18,353	—	—
前年実績比	—	前年実績比	93.3%	—	—

2024年度活動方針

- ・郵便料金値上がりへの対策として、紙資料の削減、HPの有効活用など検討していく。
- ・JR運賃値上げへの対策として、引き続き役員会議等でのオンライン化のご協力を仰ぐ一方で、コミュニケーションを図るためリアルな交流の場も大切にする。
- ・昨年度に引き続き、コスト値上げの対策として残業時間や役員会議の時間を減らすなど人件費の削減に努める。

その他

- ・各々がteamsの活用をさらに進めて効率運営をしていくことで、管理費全体の人件費抑制に努める。

第1号議案：支部規程改定の件

(主旨) 支部総会開催に伴う事務作業軽減のため成立要件となる定足数を4分の1から5分の1に緩和する。

現行規程	<u>改訂後(案)</u>
<p style="text-align: center;">第4章 支部総会</p> <p>(定足数)</p> <p>第16条 支部総会は、定時支部総会においては直近の会計年度末における支部正会員数の、また、臨時支部総会においては開催日の前月末における支部正会員数の、それぞれ4分の1以上の出席により成立する。ただし、該当議事につき書面をもって、あらかじめその意思を表示した者(書面表決者という)、および他の出席支部正会員を代理人として表決を委任した者(表決委任者という)は出席者とみなす。</p> <p>2 前項ただし書きのうち、書面表決者には電磁的方法によるものを含むものとする。</p>	<p style="text-align: center;">第4章 支部総会</p> <p>(定足数)</p> <p>第16条 支部総会は、定時支部総会においては直近の会計年度末における支部正会員数の、また、臨時支部総会においては開催日の前月末における支部正会員数の、それぞれ<u>5分の1以上</u>の出席により成立する。ただし、該当議事につき書面をもって、あらかじめその意思を表示した者(書面表決者という)、および他の出席支部正会員を代理人として表決を委任した者(表決委任者という)は出席者とみなす。</p> <p>2 前項ただし書きのうち、書面表決者には電磁的方法によるものを含むものとする。</p>
<p>附則</p> <p>1 この規程は2013(平成25)年6月22日から施行する。</p> <p>2 この改正規程は2014(平成26)年6月29日から施行する。</p> <p>3 この改正規程は2015(平成27)年6月28日から施行する。</p> <p>4 この改正規程は2016(平成28)年6月26日から施行する。</p> <p>5 この改正規程は2019(令和1)年6月23日から施行する。</p> <p>6 この改正規程は2023(令和5)年6月25日から施行する。</p>	<p>附則</p> <p>1 この規程は2013(平成25)年6月22日から施行する。</p> <p>2 この改正規程は2014(平成26)年6月29日から施行する。</p> <p>3 この改正規程は2015(平成27)年6月28日から施行する。</p> <p>4 この改正規程は2016(平成28)年6月26日から施行する。</p> <p>5 この改正規程は2019(令和1)年6月23日から施行する。</p> <p>6 この改正規程は2023(令和5)年6月25日から施行する。</p> <p><u>7 この改正規程は2024(令和6)年6月25日から施行する</u></p>

北海道支部 第三次中期3カ年計画（2023年～2025年）

支部理念

生きることと働くこと 豊かに生きる 豊かに働く

中期基本方針

- ①「人間尊重」の精神に立ち、北海道で働く人々とその組織に対して、協会本部や他支部との連携を密にしながら、産業カウンセリング等を通じて、心豊かに働ける環境を作り社会に貢献する。
- ②信頼し合う組織融和を重んじ、会員相互のつながりを強化し、研鑽できる仕組みづくりを支援する。

数値目標（注記：別途設定する）

年度	会員数	賛助会員数	収支(千円)
2022年度(実績)	671	12	2,170
2023年度(実績)	670	14	+2,418
2024年度	685	17	+1,000
2025年度	690	19	+1,000

※注記：会員数は微増でやむなしも賛助会員は心アド活用し確実に増やす、黒字は継続

重点目標

「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する！

1. 会員サービスの充実
(主旨) ニーズの把握と活動・学習の場の提供（地方都市部でのリモート等を活用した講座運営、勉強会や情報交換のグループ作り支援、シニア講座の拡大等）
2. 新規会員の獲得と定着
(主旨) 多彩な背景を持った個人・企業(潜在的検討層)に各種講座・交流会や支部事業等への参画を通し働きかけ、会員登録を実現し定着いただける施策の実施等
3. 運営幹部・指導者等を担う人材の確保と育成、レベルアップ
(主旨) 支部運営に欠かせない人材を確保し研鑽できる場と仕組みの提供、認定・更新制度の設定・見直しと個人の状況に応じた関係を継続できる仕組みの構築等
4. 収支の安定
(主旨) 黒字化の定着による人的・物的資産投資の土台作り、各部主催研修の統廃合と業務重の見直し・移管の検討、本部資産・情報の積極活用での費用圧縮等
5. IT化や本部連携等を通じた業務支援の推進
(主旨) 幹部・各部の業務遂行上の課題を把握し負担軽減につながる業務支援体制の構築、会員との交流会やSNS等を通じた直接・間接ネットワークの充実と迅速でオープンな情報の提供・共有・交換への取り組み等

以上

第3次中期計画 重点方針実行策 実施状況 1 / 2

重点目標 「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部 および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する	主管部	年度別の状況 (○企画・準備、◎実施、未実施×、→継続)					
		2023		2024		2025	
		計画	結果	計画	結果	計画	結果
重点方針と実行策							
1. 会員サービスの充実							
①会員研修講座内容の継続的な見直し	会員研修	◎	→	→			
②札幌以外での研修機会の提供	会員研修	◎	→	→			
③出講機会をとおして社会的認知度をあげる	事業推進	◎	→	→			
④広報すずらんの内容充実とペーパーレス会員の普及	広報部	○	×	○			
⑤広報すずらんのスマホ閲覧化と完全ペーパーレス化	広報部	○	×	○			
⑥旭川・釧路・函館等地方都市における交流会開催	会員部	○	×	○			
⑦著名なカウンセラー（臨床心理士）などによるトークセッション	会員部	○	×	○			
⑧CC更新講習の先行予約（新規）	CC	○	×	×			
⑨資格取得後のブラッシュアップ研修の実施	養成講座	○	→	○			
⑩自主学习会結成支援（ロープレ・逐語録音）	相談事業	◎	◎	→			
2. 新規会員獲得と定着							
①オンライン支部（仮称）を活用した情報交換	三役会	◎	×	○			
②各出講先で傾聴効果を伝える取組み	事業推進	◎	→	→			
③公開講座の企画・実施	事業推進	○	×	○			
④養成講座・CC講習修了者の交流会（年次会等）開催	会員部	○	△	→			
⑤「これからの学び方」説明会（ロードマップ説明会）開催	会員部	◎	◎	○			
⑥CC養成講習/CC更新講習受講者への働きかけ（新規）	CC	○	→	→			
3. 運営幹部・指導者等を担う人材の確保と育成、レベルアップ							
①運営幹部と運営協議員との意見交換会の実施	三役会	◎	◎	→			
②支部認定講師育成	事業推進	◎	→	→			
③支部認定講師研鑽（品質向上が収支安定へ）	事業推進	◎	→	→			
④部内研修による講師研鑽の場の企画（継続）	CC	◎	→	→			
⑤キャリアインターンのリクルート育成（継続）	CC	○	→	→			
⑥実技指導者修習生の確保並びに育成	養成講座	◎	×	○			
⑦実技指導者のスキルアップ研修の実施	養成講座	◎	◎	◎			
⑧支部認定カウンセラーの資質向上							
1)COの自律性向上支援（企画カアップ）	相談事業	○	◎	→			
2)人材・資格等のデータベース化（新）		◎	◎	→			

第3次中期計画 重点方針実行策 実施状況 2 / 2

重点目標 「魅力ある会員組織となる」ために本部、支部 および部の枠を超えて課題を共有し連携して行動する	主管部	年度別の状況 (○企画・準備、◎実施、未実施×、→継続)					
		2023		2024		2025	
		計画	結果	計画	結果	計画	結果
重点方針と実行策							
4. 収支の安定							
①会員研修収益改善に向けた取り組みの検討・実施	会員研修	○	○	○			
②各部主催研修の統廃合	会員研修	○	△	○			
③定期的なCC養成／更新講習の開催（継続）	CC	◎	◎	→			
④受講者の安定的確保							
1) 体験講座&説明会の定期開催	養成講座	◎	◎	◎			
2) 養成講座の教室編成の見直しを図る		○	→	○			
3) 募集時の告知方法の検討・実施		◎	◎	◎			
⑤資格取得後ブラッシュアップ研修実施の検討・実施	養成講座	◎	→	◎			
⑥産業カウンセラー試験対策講座実施の検討	養成講座	○	→	○			
⑦企業での体験カウンセリング拡大	相談事業	○	○	→			
⑧費用縮減努力(IT活用による会議費、交通費等含む)	支部全体	◎	◎	→			
5. IT化や本部連携等を通じた業務支援の推進							
①情報の相互交換への定着	事業推進	◎	→	→			
②HP/SNSの多様化と情報迅速化	広報部	○	×	○			
③支部ホームページ改修とスマホ閲覧（レスポンス化）※予算確保次第	広報・各部共通	◎	◎	→			
④ブログ「産カン北海道」による情報発信とその活用	会員部	◎	◎	→			
⑤CO育成研修のWeb提供（遠隔地受講のシステム化）	相談事業	◎	◎	→			
⑥Web会議システム活用カウンセリング模索（新）	相談事業	◎	◎	→			